令和３年

**小規模多機能型居宅介護事業所　沼木敬寿園**

小規模多機能型居宅介護　サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護事業所　「サービス評価」　総括表

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業所自己評価・ミーティング様式 |  | 実施日 | 令和 3年12月 6日（　19：30　～　　21：30　　） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １．初期支援（はじめのかかわり） |  | ﾒﾝﾊﾞｰ | １３人 |

◆前回の改善計画に対する取組み状況

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 個人チェック集計欄 | | よく  できている | なんとか  できている | あまり  できていない | ほとんど  できていない | 合計（総人数） |
| ⓪ | 前回の課題について取り組めましたか？ | 0人 | 11人 | 2人 | 0人 | 13人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 前回の改善計画 |  |
| ・初期の関わりの中でより沢山の情報を収集し、それを共有できるように初期支援用の書式を用意し  気づきや情報をどんどん書き込み回覧できるようにする。(初期支援シート)  ・リーダー・サブリーダーだけではなく、他職員も事前の面談に参加し、ユニット職員へ情報を伝える  機会を作っていく | |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 |  |
| ・初期支援シートに情報を書き込み、回覧・共有するところまで出来たが、それ以降の振り返りや評価までの活用という点でシートを活かしきれていない部分もあると感じた。  ・コロナ渦でもあり、事前の面談は少人数での実施となった事もあって、多くの職員が参加する機会は得られなかった。 | |

◆今回の自己評価の状況

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 個人チェック集計欄 | | よく  できている | なんとか  できている | あまり  できていない | ほとんど  できていない | 合計（総人数） |
| ① | 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？ | 3 | 9 | 1 | 0 | 13 |
| ② | サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？ | 1 | 11 | 1 | 0 | 13 |
| ③ | 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？ | 4 | 9 | 0 | 0 | 13 |
| ④ | 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？ | 0 | 10 | 3 | 0 | 13 |

|  |  |
| --- | --- |
| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
| 初期支援時には出来るだけ多くの言葉かけや関りを持つように心掛け、言動(言葉)だけではなく表情や行動などにも配慮して様子を見守りながら、少しでも早く他利用者や職員との関係性が構築できるよう努めている。利用ごとに得た情報を大切にして共有し、次回の支援に活かせるようにしている。連絡帳や送迎時の情報交換を通して、ご家族との関係性の構築や情報収集に役立てている。 | |

|  |  |
| --- | --- |
| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
| 他利用者との関りや業務の兼ね合いで、初期支援の方へ充分に関わる時間が確保できない事もあった。  シートへ記入する職員に偏りが出てしまい、より多く視点での気づきや情報を得るには、もっと意識を高めて取り組んでいきたい。得た情報を評価したり、振り返ったりする時間を作り、より深い支援に繋げていかなければと感じた。 | |

|  |  |
| --- | --- |
| 次回までの具体的な改善計画 | （200字以内） |
| ・初期支援シートの活用を継続し、利用開始してから得た情報を翌月のユニット会議で評価・振り返りする機会を作り、支援に活かせるような仕組みを構築していく。 | |

事－①

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業所自己評価・ミーティング様式 |  | 実施日 | 令和 3年12月 6日（　19：30　～　　21：30　　） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ２．「～したい」の実現（自己実現の尊重） |  | ﾒﾝﾊﾞｰ | １３人 |

◆前回の改善計画に対する取組み状況

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 個人チェック集計欄 | | よく  できている | なんとか  できている | あまり  できていない | ほとんど  できていない | 合計（総人数） |
| ⓪ | 前回の課題について取り組めましたか？ | 0人 | 10人 | 3人 | 0人 | 13人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 前回の改善計画 |  |
| ・利用者毎の個別援助計画書の内容を把握し、計画に沿った支援を心掛けていく。  ・日頃の変化や情報を共有できるように毎月のモニタリングを充実させ、利用者の「～したい」やケアに反映させていく。 | |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 |  |
| ・個別援助計画に沿った対応を心掛けて支援できている。  ・モニタリングの理解について職員毎にバラツキを感じる。 | |

◆今回の自己評価の状況

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 個人チェック集計欄 | | よく  できている | なんとか  できている | あまり  できていない | ほとんど  できていない | 合計（総人数） |
| ① | 「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？ | 0 | 9 | 4 | 0 | 13 |
| ② | 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？ | 1 | 10 | 2 | 0 | 13 |
| ③ | 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？ | 0 | 10 | 3 | 0 | 13 |
| ④ | 実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？ | 1 | 9 | 3 | 0 | 13 |

|  |  |
| --- | --- |
| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
| ・個別援助計画から長期目標や短期目標を理解し、支援に反映させている。利用者との対話を大切にして、関りの中での気づきや思いをケース入力したり、ユニット会議や申し送りで他職員へ発信し、日常の支援や毎月のモニタリングに反映できるようにしている。 | |

|  |  |
| --- | --- |
| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
| ・モニタリングの意識の持ち方や理解について職員間でのバラつきがある。本人の思いや目標などを知る事が出来ても、家族の思いや身体状況などから、必ずしもそこに沿った対応が難しい場合もある。思いや目標が日々変化していく事にも、目配り・心配りしながら、ＰＤＣＡサイクルを意識した関りを学び実践していきたい。 | |

|  |  |
| --- | --- |
| 次回までの具体的な改善計画 | （200字以内） |
| ・改めてモニタリングの重要性を認識・理解し、「～したい」「～なりたい」など利用者やご家族の思いも書き込みをしながら、より支援や個別援助計画に反映しやすいように取り組んでいく。 | |

事－②

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業所自己評価・ミーティング様式 |  | 実施日 | 令和 3年12月 6日（　19：30　～　　21：30　　） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ３．日常生活の支援 |  | ﾒﾝﾊﾞｰ | １３人 |

◆前回の改善計画に対する取組み状況

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 個人チェック集計欄 | | よく  できている | なんとか  できている | あまり  できていない | ほとんど  できていない | 合計（総人数） |
| ⓪ | 前回の課題について取り組めましたか？ | 0人 | 7人 | 6人 | 0人 | 13人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 前回の改善計画 |  |
| ・利用者の気づきや情報をいつでも・誰でも書き込める書式を準備しておき、都度、書き込みながら  情報を増やし、ケアに反映していく。(情報シート)  ・毎月3名ずつ利用者をピックアップしてより重点的に情報を集める期間を設ける。  また、それをユニット会議で報告する時間を作る。 | |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 |  |
| ・情報シートへの記入はできているが、完成までには至らず。来年度集中して取り組んでいく。  ・書き込みに留まり、ピックアップしてユニット会議で報告する時間を作るところまでは出来ていない。 | |

◆今回の自己評価の状況

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 個人チェック集計欄 | | よく  できている | なんとか  できている | あまり  できていない | ほとんど  できていない | 合計（総人数） |
| ① | 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？ | 1 | 4 | 8 | 0 | 13 |
| ② | 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？ | 2 | 11 | 0 | 0 | 13 |
| ③ | ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？ | 1 | 8 | 4 | 0 | 13 |
| ④ | 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？ | 2 | 11 | 0 | 0 | 13 |
| ⑤ | 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？ | 2 | 11 | 0 | 0 | 13 |

|  |  |
| --- | --- |
| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
| ・情報シートを始めたことで昨年よりも以前の暮らし方について多くの情報を得ることが出来た。本人の心身状況や認知症状の変化などを把握し、ケース入力や申し送りなどで情報を共有しながら、ユニット会議や日常の話し合いで検討を重ね、その時々に合わせた支援を提供できるように心掛けている。 | |

|  |  |
| --- | --- |
| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
| ・以前の暮らし方や習慣、人生の歩みなどを知りえても、充分に支援に反映できていない部分もある。  誰でも書き込める様式にしたが、なかなか書き込みが進まず完成に至らなかった。ご家族からも送迎時などに情報を得ていく姿勢も大切だという意見もあった。 | |

|  |  |
| --- | --- |
| 次回までの具体的な改善計画 | （200字以内） |
| ・情報シートの活用を継続し、計画的に記入を進めていく。より多くの情報を集め、日常の支援に反映させていく。 | |

事－③

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業所自己評価・ミーティング様式 |  | 実施日 | 令和 3年12月 6日（　19：30　～　　21：30　　） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ４．地域での暮らしの支援 |  | ﾒﾝﾊﾞｰ | １３人 |

◆前回の改善計画に対する取組み状況

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 個人チェック集計欄 | | よく  できている | なんとか  できている | あまり  できていない | ほとんど  できていない | 合計（総人数） |
| ⓪ | 前回の課題について取り組めましたか？ | 0人 | 6人 | 6人 | 0人 | 13人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 前回の改善計画 |  |
| ・地域資源についての理解を深め、実際に利用者毎に関わりのある地域資源についてイメージ出来る  ように勉強会などを行っていく。  ・情報シートを活用し、人間関係や生活スタイル、自宅での過ごし方などについての情報を集めていく。 | |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 |  |
| ・勉強会を通して、実際にその方を支えている資源について昨年度よりもイメージが出来るようになってきたと感じる。情報シートの記入により、人生の歩みや習慣などの情報を多く得ることが出来るようになってきている。その情報を活かしての支援までつなげていきたい。 | |

◆今回の自己評価の状況

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 個人チェック集計欄 | | よく  できている | なんとか  できている | あまり  できていない | ほとんど  できていない | 合計（総人数） |
| ① | 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？ | 0 | 9 | 4 | 0 | 13 |
| ② | 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？ | 0 | 9 | 4 | 0 | 13 |
| ③ | 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？ | 0 | 11 | 2 | 0 | 13 |
| ④ | 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？ | 0 | 5 | 8 | 0 | 13 |

|  |  |
| --- | --- |
| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
| ・ユニット会議での勉強会を通して、地域資源についての理解を深めることが出来た。情報シートの記入や日常の会話や関りの中から情報を得ようと職員の意識的な関りも増えてきているように感じる。コロナ渦の中、感染状況に合わせながら制限をしてではあるが、施設として少しずつ面会が出来る環境を整え対応した。 | |

|  |  |
| --- | --- |
| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
| ・コロナ渦もあり、行動できる範囲が制限されてしまい外出や外食などが出来ず地域に出向く機会はほとんど得られなかった。日常の会話の中に地域の事や昔の事などを組み入れながら対応を行った。  ・情報シートの記入の情報を活かしての支援までは出来ていない部分も多い。 | |

|  |  |
| --- | --- |
| 次回までの具体的な改善計画 | （200字以内） |
| ・地域資源の勉強会を行い、更に理解を深め、利用者毎の活用イメージを持てるように取り組んでいく。  ・情報シートの活用を継続して、情報を基にした支援へ反映させていく。 | |

事－④

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業所自己評価・ミーティング様式 |  | 実施日 | 令和 3年12月 6日（　19：30　～　　21：30　　） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ５．多機能性ある柔軟な支援 |  | ﾒﾝﾊﾞｰ | １３人 |

◆前回の改善計画に対する取組み状況

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 個人チェック集計欄 | | よく  できている | なんとか  できている | あまり  できていない | ほとんど  できていない | 合計（総人数） |
| ⓪ | 前回の課題について取り組めましたか？ | 2人 | 9人 | 2人 | 0人 | 13人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 前回の改善計画 |  |
| ・運営推進会議毎に管理者より会議の内容についてユニット会議内で報告をする時間を設ける。  回覧や報告などで情報を共有していく。 | |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 |  |
| ・ユニット会議で運営推進会議での内容について報告する時間を作り、回覧して皆で共有する事が出来た。 | |

◆今回の自己評価の状況

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 個人チェック集計欄 | | よく  できている | なんとか  できている | あまり  できていない | ほとんど  できていない | 合計（総人数） |
| ① | 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？ | 3 | 7 | 3 | 0 | 13 |
| ② | ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？ | 7 | 6 | 0 | 0 | 13 |
| ③ | 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？ | 3 | 8 | 2 | 0 | 13 |
| ④ | その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？ | 4 | 7 | 2 | 0 | 13 |

|  |  |
| --- | --- |
| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
| ・利用者毎のニーズや状態の変化に合わせながら、「訪問」「通い」「宿泊」を組み合わせサービスの提供を行っている。急な利用変更や追加などにも可能な限り応えながら、柔軟な対応ができている。申し送りやノート、ケース記録などを通して、ニースや状態変化について情報を共有し支援に反映している。 | |

|  |  |
| --- | --- |
| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
| ・「通い」「宿泊」に関しては定員の上限があり、要望に応えられない場合もある。ケース記録が不充分な事があり、振り返りや評価が難しい時があった。より多くの地域資源を活用したり、提案できるように各自がより理解を深められるように働きかけていく。 | |

|  |  |
| --- | --- |
| 次回までの具体的な改善計画 | （200字以内） |
| ・思いやニーズなどの日々の変化や気づきを増やせるように、ちょっとした事でもケース記録を残す意識を高め取り組んでいく。またその情報を他職員へ積極的に伝え情報の共有を行っていく。 | |

事－⑤

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業所自己評価・ミーティング様式 |  | 実施日 | 令和 3年12月 6日（　19：30　～　　21：30　　） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ６．連携・協働 |  | ﾒﾝﾊﾞｰ | １３人 |

◆前回の改善計画に対する取組み状況

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 個人チェック集計欄 | | よく  できている | なんとか  できている | あまり  できていない | ほとんど  できていない | 合計（総人数） |
| ⓪ | 前回の課題について取り組めましたか？ | 0人 | 4人 | 7人 | 2人 | 13人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 前回の改善計画 |  |
| ・事業所以外のサービス事業者や地域の方々との関わりを多く持てるように、担当者会議や外部の会議、  認知症カフェ・受診対応、地域行事など出来るだけ多くの職員が参加する機会を作っていく。  ・地域の活動やイベントの情報を集め、早めに企画を立て積極的に参加し交流を図っていく。 | |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 |  |
| ・コロナ渦中もあり、外部の方と会議や関りは最少人数で行ったため、参加する職員が固定されてしまった。受診対応は昨年よりも多くの職員が対応する機会を作った。地域行事は中止が多く参加出来なかったが、地域行事について利用者との会話の中に取り入れながら対応した。 | |

◆今回の自己評価の状況

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 個人チェック集計欄 | | よく  できている | なんとか  できている | あまり  できていない | ほとんど  できていない | 合計（総人数） |
| ① | その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？ | 0 | 8 | 4 | 1 | 13 |
| ② | 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？ | 0 | 7 | 5 | 1 | 13 |
| ③ | 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？ | 0 | 5 | 5 | 3 | 13 |
| ④ | 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？ | 0 | 3 | 4 | 6 | 13 |

|  |  |
| --- | --- |
| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
| ・感染症対策を行いながら、担当者会議や福祉用具相談など外部の方との会議や関りを持つことが出来た。地域の避難訓練や認知症カフェへの参加し、地域の方との関りを持てる機会となった。地域包括支援センターや地区の会議にオンラインでの参加を行い情報や意見交換、研修等に参加することが出来た。 | |

|  |  |
| --- | --- |
| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
| ・コロナ渦中の為、夏祭りやボランティアや百歳体操など地域の方が施設に来ていただく機会がなかった。 | |

|  |  |
| --- | --- |
| 次回までの具体的な改善計画 | （200字以内） |
| ・コロナ感染状況に合わせ感染症対策を行いながら、外部の方との会議や研修、地域行事、認知症カフェなどに、より多くの職員が参加する機会を作っていく。  ・地域の方へ事業所の特性や取り組みなどを知って頂ける取り組みを行っていく。 | |

事－⑥

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業所自己評価・ミーティング様式 |  | 実施日 | 令和 3年12月 6日（　19：30　～　　21：30　　） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ７．運営 |  | ﾒﾝﾊﾞｰ | １３人 |

◆前回の改善計画に対する取組み状況

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 個人チェック集計欄 | | よく  できている | なんとか  できている | あまり  できていない | ほとんど  できていない | 合計（総人数） |
| ⓪ | 前回の課題について取り組めましたか？ | 0人 | 7人 | 6人 | 0人 | 13人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 前回の改善計画 |  |
| ・ユニット会議の議題が多くなってしまうのを防ぐため、提案シートを活用しながら、日常的にケアの検  討・決定を行い、出来るだけ早目に対応ができるように心掛けていく。  ・地域に必要とされる拠点であるために施設としての取り組んでいる事や地域と協働した取り組みについての理解を深められるよう勉強会を行っていく。 | |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 |  |
| ・提案シートの活用により会議での議題を減らすことが出来た。反面、全職員の意見を集約するまでに時間を要し、素早い対応が難しい部分もあった。  ・年初に外部評価の勉強会の中に取り入れて学ぶ機会を作った。もう一度勉強会を年度末に予定している。 | |

◆今回の自己評価の状況

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 個人チェック集計欄 | | よく  できている | なんとか  できている | あまり  できていない | ほとんど  できていない | 合計（総人数） |
| ① | 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？ | 1 | 7 | 5 | 0 | 13 |
| ② | 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？ | 1 | 11 | 1 | 0 | 13 |
| ③ | 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？ | 0 | 9 | 3 | 1 | 13 |
| ④ | 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？ | 1 | 6 | 4 | 1 | 13 |

|  |  |
| --- | --- |
| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
| * 上司との面談や相談を通して、ユニットの職員が意見や要望を伝えやすい環境を作っている。本人や家族からの要望や苦情には素早く真摯な対応を心掛けている。運営推進会議での意見や情報など運営に反映できるよう取り組んでいる。 | |

|  |  |
| --- | --- |
| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
| * 各職員が事業所の在り方や運営という意識を持てるまでの取り組みには至らなかった。 * 地域密着型施設としての役割や取り組みについて、職員毎の理解度に差がある為、勉強会を継続していく。 | |

|  |  |
| --- | --- |
| 次回までの具体的な改善計画 | （200字以内） |
| ・運営推進会議の開催内容についてユニット会議内での報告や会議録回覧を行い、全職員で共有する。  ・ユニット職員面談や相談機会を多く作り、意見や思いを伝えられる機会を作っていく。 | |

事－⑦

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業所自己評価・ミーティング様式 |  | 実施日 | 令和 3年12月 6日（　19：30　～　　21：30　　） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ８．質を向上するための取組み |  | ﾒﾝﾊﾞｰ | １３人 |

◆前回の改善計画に対する取組み状況

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 個人チェック集計欄 | | よく  できている | なんとか  できている | あまり  できていない | ほとんど  できていない | 合計（総人数） |
| ⓪ | 前回の課題について取り組めましたか？ | 0人 | 10人 | 3人 | 0人 | 13人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 前回の改善計画 |  |
| ・年度末までに自分が参加したい外部研修をリーダーへ報告し、次年度の研修計画に反映していく。  ・今後もリーダーはシフト作成時に希望の研修に参加出来るようシフトを組む。 | |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 |  |
| ・参加希望を募り、出来る限り研修計画に取り入れた。オンライン研修に多く参加し、知識や技術の向上につながっている。シフト調整を行い、研修に参加しやすいよう配慮が出来ている。 | |

◆今回の自己評価の状況

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 個人チェック集計欄 | | よく  できている | なんとか  できている | あまり  できていない | ほとんど  できていない | 合計（総人数） |
| ① | 研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか | 3 | 8 | 2 | 0 | 13 |
| ② | 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか | 1 | 8 | 3 | 1 | 13 |
| ③ | 地域連絡会に参加していますか | 0 | 5 | 4 | 4 | 13 |
| ④ | リスクマネジメントに取組んでいますか | 1 | 10 | 2 | 0 | 13 |

|  |  |
| --- | --- |
| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
| ・外部研修やオンライン研修に積極的に参加し、知識や技術向上に努めている。内部研修を多く取り入れ、参加できなかった職員も資料での勉強会を行い、全員参加するようにしている。施設内外の研修とも、職員の経験に合わせた研修の立案や参加の配慮を行い、スキルアップにつなげている。  ・ヒヤリハット報告書を活用し、事故を未然に防げるよう取り組んでいる。 | |

|  |  |
| --- | --- |
| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
| ・研修の中止や変更などで、計画通りの参加は難しかった。研修内容の周知や伝達方法を工夫し、より多くの職員での共有を図れるように取り組んでいく。  ・事故が発生してからの対策になってしまう場合もあった。ちょっとした気づきでもヒヤリハット報告書を記入する意識を高めていく。 | |

|  |  |
| --- | --- |
| 次回までの具体的な改善計画 | （200字以内） |
| ・各々の自己課題を理解し、学びたい分野について研修に参加し知識や技術の向上を図る。  ・ヒヤリハット報告書を積極的に記入し、ちょっとした気づきを大切に事故を未然に防ぐ意識を高めて  　いく。 | |

事－⑧

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業所自己評価・ミーティング様式 |  | 実施日 | 令和 3年12月 6日（　19：30　～　　21：30　　） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ９．人権・プライバシー |  | ﾒﾝﾊﾞｰ | １３人 |

◆前回の改善計画に対する取組み状況

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 個人チェック集計欄 | | よく  できている | なんとか  できている | あまり  できていない | ほとんど  できていない | 合計（総人数） |
| ⓪ | 前回の課題について取り組めましたか？ | 3人 | 8人 | 2人 | 0人 | 13人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 前回の改善計画 |  |
| ・グレーゾーンについて共通理解を深め、「あれ？」と思ったことをそのままにしない。  お互いに声を掛け合ったり、フォローし合いながら働きやすいユニット環境を目指していく。 | |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 |  |
| ・勉強会や外部・内部研修を通して、虐待や身体拘束への理解や意識の向上に努めている。  ・自分自身や他職員の関りや介助について、チェックシートを活用し振り返る機会を作っている。 | |

◆今回の自己評価の状況

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 個人チェック集計欄 | | よく  できている | なんとか  できている | あまり  できていない | ほとんど  できていない | 合計（総人数） |
| ① | 身体拘束をしていない | 9 | 4 | 0 | 0 | 13 |
| ② | 虐待は行われていない | 8 | 5 | 0 | 0 | 13 |
| ③ | プライバシーが守られている | 4 | 8 | 1 | 0 | 13 |
| ④ | 必要な方に成年後見制度を活用している | 1 | 3 | 9 | 0 | 13 |
| ⑤ | 適正な個人情報の管理ができている | 4 | 7 | 2 | 0 | 13 |

|  |  |
| --- | --- |
| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
| ・施設として、虐待や身体拘束をしない宣言を行っている。外部研修にも積極的に参加し、内部研修・ユニット内の勉強会を通して意識を高めている。グレーゾーンに関しては、判断基準がなかなか難しいところはあるが、都度、確認や話合いを行いながら適切に支援できるように心掛けている。個人情報の管理も適切に行えている。 | |

|  |  |
| --- | --- |
| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
| ・場面によって、プライバシーへの配慮が不足していると感じるときもある。(排泄の言葉かけ)  ・認知症の方への対応について、言葉かけや対応に迷ったり、「あれ？」と感じる場面があった。認知症の理解や知識、対応技術をより高めていく取り組みを行っていく。成年後見制度は利用されている方はいない。 | |

|  |  |
| --- | --- |
| 次回までの具体的な改善計画 | （200字以内） |
| ・認知症の理解を深め、安心して安全に過ごしていただけるように、勉強会や研修参加など積極的な取組みを行っていく。 | |

事－⑨

|  |
| --- |
| 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 法人名 | 社会福祉法人  敬寿会 | 代表者 | 施設長  山口　まゆみ |  | 法人・  事業所  の特徴 | 沼木敬寿園では「その人らしく」を大事にし、利用者様の住み慣れた地域、事業所のある地域の中で安心して生活が送れるよう支援を心掛けています。利用者様の自立支援に向けてできる能力を引き出し、可能性を大事にし、一人ひとりの想いやペースを尊重しながら家庭的な雰囲気の中で自分らしく過ごせることを大切にしていきます。 |
| 事業所名 | 沼木敬寿園 | 管理者 | 高橋　大介 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援ｾﾝﾀｰ | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　　目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
| Ａ．事業所自己評価の  確認 | ・年度初めに「外部評価」に関する勉強会を行い、理解を深め、意識や取り組み方を統一できるように働きかけていく。  ・ユニット会議での定期的な評価や振り返りを継続していく。 | ・年度初めに「外部評価」に関する勉強会と今年度の取組みについての説明を行いスタートした。  ・ユニット会議での定期的な評価の部分に於いては、毎回の実施は難しく、課題として取り組んでいく。 | ・全職員が参加し、限られた時間の中で取り組んでいることが分かった。  ・以前の暮らしという点で、以前からの馴染みの関係なども知っておいて欲しい。コロナ渦で本人との関係性が分からずに、面会を断られたケースもあった。 | ・職員毎の「外部評価」への理解を深めるための働きかけを継続し、より意識を高く持って取り組んでいく。  ・定期的な評価の方法について検討し、実践していく。 |
| Ｂ．事業所の  しつらえ・環境 | ・ご利用者が安全に安心して過ごせる空間や環境作りを継続していく。  ・季節を感じられる工夫をもっと行っていく。(植物・作物、創作の展示など)  ・明るく活気ある雰囲気で過ごして頂けるように笑顔と挨拶を大切にして取り組んでいく。 | ・利用者の作成した作品の展示や観葉植物、水槽などを取り入れ、より家庭的な雰囲気作りに努めた。植物の水やりや水槽のエサやりなどご利用者自身の役割に繋がったり、成長を一緒に楽しみながら日々過ごすことが出来た。  ・元気なあいさつや明るい言葉かけなどに意識し取り組んだ。 | ・コロナ渦で実際に入った事があるのは会議スペースだけなので、実際のユニットの様子や鍵の有無、植物などの取り組みの様子は分からない。 | ・植物や生き物などに触れながら、役割や張り合いを持ちながら、明るく・楽しく利用できる環境を目指す。  ・「笑顔」「感謝」「尊敬」をモットーにご利用者が安心して、安全に過ごしていただける環境や雰囲気を作っていく。 |
| Ｃ．事業所と地域の  かかわり | ・コロナ禍の状況に合わせ、感染症対策を万全にしながら、少しずつ地域の方々との交流を図る機会を設けていけるよう努めていく。 | ・コロナ渦中の開催中止や延期等により、実際に地域住民の方との交流機会はほとんど持つことが出来なかった。季節行事や催しにつて話題に出し、身近に感じてもらえるよう働きかけた | ・コロナ渦の為、ほとんどできなかったが、一部、地区ごとに体操などで集まり始めているところもある。 | ・昨年同様にコロナ禍の状況に合わせ、感染症対策を万全にしながら、少しずつ地域の方々との交流を図る機会を設けていけるよう努めていく。 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| Ｄ．地域に出向いて  本人の暮らしを  支える取組み | ・広報誌やお便りなどで、施設としての取り組みや日常の様子、介護の情報などを地域の方へ発信していく。  ・施設内での活動の充実を図りながら、楽しんで過ごして頂けるよう取り組んでいく。  ・コロナ禍の状況に合わせ、感染症対策を万全にしながら、少人数での外出レクリエーション等の機会を模索していく。 | ・広報誌の発行に関して積極的な取組みに至らず。地域への方への事業所を知って頂く機会にもなる為、課題として取り組んでいく。  ・コロナ渦の状況を見ながら、少人数での車中からのドライブの実施を数回企画・実施することが出来て、ご利用者も喜ばれていた。  ・施設内、ユニット内での行事を多く取り入れ、活動の充実を図ることが出来た。 | ・広報誌を目にする機会はあまりなかったが、ＨＰが更新されており、そこから情報を得ることが出来た。  ・施設内だけだと、どうしても息が詰まってしまうイメージがあるので、感染対策をして、少人数でも出かけるのは良いと思った。  ・施設の中でも様々工夫して取り組んでいるのが分かった。 | ・広報誌やお便りの発行を通して、小規模多機能や日常の様子を地域の方にも知って頂けるように取り組んでいく。  ・コロナ渦中の状況に合わせながら、施設内の活動、及び少人数での外出など、日常の中の楽しみや張り合いを持って利用いただけるよう工夫しながらサービスの提供を継続していく。 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| Ｅ．運営推進会議を  活かした取組み | ・運営推進会議で、引き続き小規模多機能の仕組みや取り組み・活動について報告し、地域の方により知って頂ける機会にしていく。  ・委員の方の意見や提案を取り入れながら運営に反映し、より良いサービス提供へつなげていく。 | ・今年度より会議の出席いただく委員の方の変更があり、小規模多機能の認知度については、低いことを実感した。今後も運営推進会議での活動報告や発信を継続していきたい。  ・委員の方からの意見や提案については運営に反映できるよう取り組みが行えている。 | ・地域の困り毎の事例検討までにはならなかったが、話題に上がる事はあった。  ・委員になったばかりで正直、事業所毎の違いや取り組み等について、充分理解できていないところが多い。 | ・運営推進会議の中で、引き続き事業所の特性や取り組みについての報告を行っていく。また、コロナ渦の状況に合わせながら、ユニット内の見学や外部評価の説明等を行いながら、理解を深めて頂けるよう努めていく。  ・委員の方からの意見や提案を大切にし、運営に反映させながら、より質の高いサービスの提供を目指していく。 |
| Ｆ．事業所の  防災・災害対策 | ・事業所の防災計画について、外部の方も閲覧できるような仕組みを作る。  ・有事に備えて、地域と連携した避難・誘導を行えるよう、訓練の実施を継続していく。 | ・防災計画について、施設内に提示していたものの、なかなか閲覧いただく機会までには至らず。。  ・地域と協働しての防災訓練や水害想定訓練、地域の防災訓練の参加など行えている。 | ・防災計画の閲覧方法が分からなかった。  ・防災計画の存在は知っているが、詳細までは分からなかった。  ・有事には避難場所になっている事も段々、地域の方にも根付いてきている。 | ・防災計画について外部の方への周知や閲覧方法について再度検討していく。  ・有事に備え、引き続き地域と連携した避難・誘導を行えるよう、避難訓練や想定訓練を実施していく。 |